

Perme・IMS 使い分け記録シート

ICU 早期離床：IMS は到達共有、Perme はバリアを含めた原因整理に使う

基本情報			
患者ID		評価日	
評価者		場所	

30秒で決める：目的別の使い分け		
判断したいこと	使う尺度	記録の最小セット
今日どこまで動けたか	IMS	IMS+到達レベル+条件
なぜ離床が止まるか	Perme	総点+詰まり領域+次の一手
毎日共有したい	IMS中心	短く・同じ条件で継続
方針転換したい	Perme併用	バリア/意識/耐久を確認

比較メモ：同じ患者でも「到達」と「詰まり」を分けて読む			
項目	IMS	Perme	使い分け
焦点	最高到達レベル	意識・バリア・動作・耐久	到達=IMS/詰まり=Perme
強み	多職種で共有しやすい	動けない理由を整理しやすい	毎日=IMS、要所=Perme
注意	条件差で比較がぶれる	低値=筋力低下と限らない	条件メモを必ず併記
おすすめ	毎日の申し送り	離床停滞・退室前後	IMS+Permeの二段運用

条件固定チェック：スコアを比較できる形にする		
確認項目	チェック	メモ
評価タイミングをそろえた	<input type="checkbox"/>	処置直後・鎮静変更直後は解釈に注意
RASS・せん妄・疼痛を確認	<input type="checkbox"/>	活動度の低下が意識・症状由来でないか
酸素条件・ライン・機器を確認	<input type="checkbox"/>	本数・取り回し・固定・介助者数を記録
次回介入の条件を決めた	<input type="checkbox"/>	距離・休息・介助量・中止基準を短く記載

記録テンプレ：点数で終わらせず、次回介入まで書く		
記録項目	記入欄	次の一手につなげる視点
IMS	IMS： /10 到達：	「今どこまで」を短く共有
Perme	Perme： /32 詰まり：	バリア・意識・耐久のどこで止まるか
条件	RASS： 酸素： ライン： 本	同じ条件で経時比較できるようにする
次回方針		課題を上げる/下げる/環境調整を選ぶ

自由記載：できた条件・止まった理由・次回の工夫